

建築物の整備等による良好な景観形成のための住まい・まちづくり活動団体の実践的取組みに関する調査事業

(財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団)

河崎地区における景観形成の推進のための調査

2005年3月

特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆

．対象地区の概要

1．町並み

河崎地区には全体的に切妻・妻入りの重厚な町屋や蔵が多く残り、勢田川西岸にはまちづくり拠点である「伊勢河崎商人館」、町屋を利用した「暮らし体験の家」、町屋や蔵を改修した飲食店や美容院などといった伝統的建造物の保全活用例が見られ、地域住民を中心としたまちなみ保全活動が行われている。一方、勢田川東岸は住宅地となっており、空家や老朽化、伝統的建造物の取り壊しなどの問題が生じており、これらは西岸に共通する課題でもあり両岸一体となった保全活動の展開が課題となっている。

2．勢田川

勢田川改修工事もほとんど終了し、勢田川東岸では川沿いの建物の多くが取り壊されるなど景観が大きく変容したが、西岸の一部地域（伊勢河崎商人館周辺）では、特別修景部分として石垣・町屋・世古から構成される伝統的な水景観が保全されている。平成14年には勢田川中～下流域を舟運で結ぶ「海の駅・川の駅」整備構想が策定されると共に、同構想にもとづき平成15年には空き蔵を改修して「河崎・川の駅」が整備されている。また平成16年にはかつて使用されていた「伊勢船型」の木造船が復元され、NPO法人神社みなとまち再生グループによって神社から河崎にかけてのルートにて土日・祝日に運行されている。

3．世古

世古とは細い路地に対する伊勢地方独特の呼称であり、「藪の世古」等の名前が付けられているものがある。馬つなぎ石等の歴史の名残や、人々の暮らしが身近に感じられるヒューマンスケールの生活空間である。しかし側溝が世古の中央に設けられたり、狭い世古内部に車が入ったり、世古を構成する建物が壊されることにより世古が失われるなどという問題が生じており、地域資源としての世古空間の保全活用が課題となっている。

4．環濠跡

河崎の成立時に造られた環濠は、現在その多くが暗渠化されたり、あるいは埋め立てられて細い水路になってしまっているが、場所によっては石垣が残っていたり、環濠内が盛り土により周囲から1mほどかさ上げされているといった景観上の特徴を見ることが出来る。環濠跡の一部を復元整備することも今後の課題である。

．対象地区の景観形成に関するまちづくりの経緯

（景観まちづくりに関わる組織と活動概要）

1．これまでの景観形成に関するまちづくりの経緯と現状

昭和49年の集中豪雨による災害対策として提案された勢田川の河川改修計画を契機に、歴史的町並み景観の価値に気付いた住民による町並み保存運動がまちづくりの発端であり、当初は行政との対立の構図が長く続いたが、住民参加による都市マスタープランの作成などにより行政と住民によるまちづくりへの協働意識が高まり、取り壊されようとしていた商家の保存活用について住民の要望を受け入れて伊勢市が買収整備を決断し、住民がそれを管理運営するという伊勢河崎商人館が開館し、新たなまちづくり拠点として、歴史的建造物・町並みを生かしたまちづくりと、勢田川を生かしたまちづくりを進めている。また住民の提案を受けた伊勢市と住民の協働による勢田川を舞台とした「海の駅・川の駅」整備も進んでいる。

2. 貴団体が対象地区に関わり始めた時期・契機、活動の目的とこれまでの活動概要

勢田川の河川改修計画を契機に歴史的町並みを保全した形での改修を提案し、歴史的町並みの保存の活動を進めてきた「伊勢河崎の歴史と文化を育てる会」(昭和 53 年設立)の活動が少し停滞気味になったのを受け、新たな人々が参加、活動しやすい会として、「伊勢河崎蔵バンクの会」を設立し(平成 9 年)河崎町並みの特徴である土蔵の保全活用を中心に据えた活動を始めた。その調査活動中に現在、伊勢河崎商人館となった商家の保存問題が出てきて、蔵バンクの会として保存案を示し、市当局との協議を重ねた結果、市が買収整備し、住民が管理運営を担うという方向性が示された。その管理運営を担う団体として、責任を明確にするために蔵バンクの会を中心に NPO 法人化を図り、平成 11 年 NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆を設立した。

3. 貴団体以外で対象地区に関わっている組織・団体の活動概要や貴団体との関わり

主な組織と活動概要、伊勢河崎まちづくり衆との関わりをまとめると以下の通りである。

(1) 河崎まちづくり協議会

地区内の町内会など 22 団体で構成され、伊勢河崎まちづくり衆が事務局を担当。まちづくり衆が呼掛け人になって設立した。勢田川沿いの空地に花を植えたり、ベンチを自分達でつくり各所に置くなどの事業から取り組む。河崎のまちづくりについてまちづくり衆と協働して取り組んでいる。

(2) 伊勢市

伊勢河崎商人館、河崎川の駅の整備をして管理運営を伊勢河崎まちづくり衆に委託。また伊勢市はまちづくり衆へ各種まちづくり事業を委託し、地元主体のまちづくりを支援している。

(3) 三重県

空間快適性向上のための住民参画による取組みへの支援。河崎部会の活動として誘導案内板の作成やまちづくり事業を伊勢市と共に伊勢河崎まちづくり衆に委託している。また宮川流域ルネサンス事業におけるエコミュージアムへの取組みにおいて拠点施設としてまたインタープリターとしてまちづくり衆が参加している。

(4) NPO 伊勢「海の駅・川の駅」運営会議

勢田川の舟運を生かしたまちづくりの連携に関わる取組み。伊勢河崎まちづくり衆として「河崎川の駅」の管理運営と木造和船「みずき」の運航の課題等について協議し活用方法などにおいて支援している。

(5) 伊勢春慶の会

河崎のかつての地場産業である伊勢春慶の復活への取組み。河崎の地場産業であった伊勢春慶の復活は河崎のまちづくりにおいて大きな力になると思われるため、伊勢河崎まちづくり衆の活動として協働している。

(6) 商工会議所

TMO 運営協議会への参加による、商業活性化事業の支援。空家・空土蔵の再生活用について主にマネージメントの部分で TMO 運営協議会や商工会議所の伊勢まちづくり研究所と情報交換しながら進めている。